

その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.123

a taste of Ya'ssy

田中 康夫



たなかやすお ● 56年東京生まれ、作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。'09年に衆議院議員に当選、1期務める。「文藝」(河出書房新社)2013年冬季号から17年ぶりに小説の連載を開始。【公式ブログ】<http://www.nippon-dream.com/>



Ya'ssy

豊富な料理、闊達な接客。陽気な空気。会話の弾む、毎日でも浸りたい台所

今週の逸品



ブリかま塩焼き 1800円

運営するフェアグラウンドは渋谷の並木橋でなかむらを、この他にも異なる業態で銀座や神宮前、東山、上原と計6店舗を展開。優れて「現在」の居酒屋でありながら温性を感じさせる真つ当な料理と接客。独りでも

集団でも相応しい時空。これで入口外側の喫煙空間を犬同伴可能なテラス席として営業したなら、ロッタの親馬鹿/ババ&ママは真刻に日参を考える程に素晴らしい料理店。千客万来なので要予約。飲物も各種豊富。

【分店なかむら食堂】港区赤坂6-15-1 ミツワビル1F ☎03-5575-0026
営17:30~23:30 (LO22:30) 無休 禁煙 <http://ameblo.jp/fg-bunten/>

illustration by Hajime Anzai



で、お待たせしました。今年巡り会った中でも屈指の分店なかむら食堂です。赤坂通りを乃木坂方向へと進行。五丁目交番を過ぎて赤坂陽光ホテル脇を左折した、少しく昭和を感じさせる趣の路地に存在します。豊富な料理、闊達な接客。陽気な空気。妻のW嬢と二人、いつも気付くと三時間近くが経過している程、会話が弾む心地良さ空間なのです。

1400円の和牛イチボたたき。最近のお気に入り。6品1000円のおでんも時節柄、人気です。本日、紹介する絶品は1800円のブリかま塩焼き。常にお供されるところに限らず、大きさに拠って少しく低い値付けの場合も。が、その身の付き方、その塩の振り方は絶妙。デストロイヤーの符丁で慕われる浪速出身の作り手・功一に仕入れの具合を尋ねることです。

彼と共に厨房を預かるのは恰幅も愛嬌も満点なハルちゃん、赤坂で生まれ育ったジョニー、そしてユキミ。接客担当は三名。慎太郎店長の下でデザートも手掛けるかな々と新人マーシー。

やみつきセロリ500円、パクチーサラダ750円で野菜補給。ツブ貝とエリンギのガリックバター900円、1個150円の鶏唐揚、豚ゲソジンジャー800円、ちくわの磯辺揚げ600円が我が家の定番。毎日でも浸りたい台所。それが分店なかむら食堂なのです。

誰しも何軒か、馴染みの料理店があるでしょう。僕として例外ではありません。が、営み手と食べ手との間に弛緩した空気が淀む「お友達」ではないのです。作り手、供し手と食べ手の間に程良き緊張感を保った上での馴染みです。

近時、鮎なら西麻布のすし匠まさ。更には三宿の金多楼。残念ながら後者は撮影不可の為、当連載には登場していませんが、共に侮り難き職人芸の逸軒。適価なワインと炭火焼きのビストロで知られる西麻布のレ・ビノムも、料理と

接客の卓越性で推奨します。而してこの一年、極めて足繁く通った料理店は、カンテীয়ヌアリ・バブ、東京麻婆食堂、分店なかむら食堂。何れも全面禁煙。奇しくも赤坂の地籍なのです。

六本木通りを隔ててARKヒルズの真向かいをTBS方向へと一方通行路を入れて直ぐ左手のアリ・バブは、パリ17区辺りの香りIIエスプリが漂うビストロ。3800円で前菜2皿・主菜1皿・食後の甘味と飲物を愉しめます。加えて欧州と同じく犬の同伴が店内も